

袖ヶ浦市下水道事業の業務状況

(令和2年度下半期)

10月1日から3月31日まで

都市建設部 下水対策課

1 事業の概況

業務の状況

公共下水道は、行政区域内人口65,075人に対して、処理区域内人口44,043人となり普及率67.7%となっています。水洗化人口は42,822人で前年末比499人増、水洗化率97.2%となっています。有収水量は2,299,574m³で前年比5.7%増（124,375m³）、一人一日平均有収水量は295ℓで前年比4.6%増（13ℓ）となり、水洗化人口、排水戸数とも増加し、有収水量も増となっています。

農業集落排水は、行政区域内人口65,075人に対して、処理区域内人口4,256人となり普及率6.5%となっています。水洗化人口は3,323人で前年末比77人減、水洗化率78.1%となっています。有収水量は161,064m³で前年比6.4%増（9,659m³）、一人一日平均有収水量は266ℓで前年比8.6%増（21ℓ）となり、水洗化人口、排水戸数は減少したものの、有収水量は増加となっています。

（公共下水道）

区 分		令和2年度下半期		令和元年度下半期		比較増減	対前年度比
1	行政区域内人口 A	65,075	人	64,519	人	556	0.9
2	処理区域内人口 B	44,043	人	43,626	人	417	1.0
3	処理区域内世帯	19,481	戸	19,033	戸	448	2.4
4	水洗化人口 C	42,822	人	42,323	人	499	1.2
5	普及率 B/A	67.7	%	67.6	%	0.1	—
6	水洗化率 C/B	97.2	%	97.0	%	0.2	—
7	排水戸数	18,882	戸	18,405	戸	477	2.6
8	有収水量	2,299,574	m ³	2,175,199	m ³	124,375	5.7
9	一日平均有収水量	12,635	m ³	11,952	m ³	683	5.7
10	一人一日平均有収水量	295	ℓ	282	ℓ	13	4.6

※1行政区域内人口～7排水戸数は2年度末数値 8有収水量～10一人一日平均有収水量は2年度下期数値

（農業集落排水）

区 分		令和2年度下半期		令和元年度下半期		比較増減	対前年度比
1	行政区域内人口 A	65,075	人	64,519	人	556	0.9
2	処理区域内人口 B	4,256	人	4,318	人	△ 62	△ 1.4
3	処理区域内世帯	1,438	戸	1,470	戸	△ 32	△ 2.2
	東 部 地 区	491	戸	517	戸	△ 26	△ 5.0
	松 川 地 区	207	戸	213	戸	△ 6	△ 2.8
	平 岡 地 区	740	戸	740	戸	0	0.0
4	水洗化人口 C	3,323	人	3,400	人	△ 77	△ 2.3
5	普及率 B/A	6.5	%	6.7	%	△ 0.2	—
6	水洗化率 C/B	78.1	%	78.7	%	△ 0.6	—
7	排水戸数	1,155	戸	1,174	戸	△ 19	△ 1.6
8	有収水量	161,064	m ³	151,405	m ³	9,659	6.4
9	一日平均有収水量	885	m ³	832	m ³	53	6.4
10	一人一日平均有収水量	266	ℓ	245	ℓ	21	8.6

※1行政区域内人口～7排水戸数は2年度末数値 8有収水量～10一人一日平均有収水量は2年度下期数値

2 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出

収 入

(単位：円、税込)

款・項	予算現額 (A)	下半期執行額	年間執行額 (B)	執行率 (%) (B) / (A)
下水道事業収益	1,751,144,000	927,972,366	1,713,566,318	97.9
営業収益	715,067,000	389,472,122	749,941,294	104.9
営業外収益	1,036,077,000	538,500,244	963,625,024	93.0

支 出

(単位：円、税込)

款・項	予算現額 (A)	下半期執行額	年間執行額 (B)	執行率 (%) (B) / (A)
下水道事業費用	1,625,423,000	1,178,825,804	1,612,317,508	99.2
営業費用	1,416,401,500	1,081,735,274	1,411,277,278	99.6
営業外費用	162,525,500	96,843,065	161,671,635	99.5
特別損失	39,496,000	247,465	39,368,595	99.7
予備費	7,000,000	0	0	0.0

(2) 資本的収入及び支出

収 入

(単位：円、税込)

款・項	予算現額 (A)	下半期執行額	年間執行額 (B)	執行率 (%) (B) / (A)
資本的収入	414,385,000	379,019,850	410,196,761	99.0
企業債	227,700,000	225,200,000	225,200,000	98.9
他会計補助金	150,728,000	150,728,000	150,728,000	100.0
国庫補助金	29,866,000	864,500	27,536,500	92.2
負担金	5,573,000	2,027,550	6,176,361	110.8
長期貸付金償還金	518,000	199,800	555,900	107.3

支 出

(単位：円、税込)

款・項	予算現額 (A)	下半期執行額	年間執行額 (B)	執行率 (%) (B) / (A)
資本的支出	862,588,000	466,737,571	854,318,188	99.0
建設改良費	157,995,000	113,772,848	152,374,728	96.4
固定資産購入費	3,864,000	134,420	3,863,420	100.0
企業債償還金	699,129,000	352,830,303	698,080,040	99.8
長期貸付金	1,600,000	0	0	0.0

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額444,121,427円は、地方消費税資本的収支調整額2,257,373円、引継金99,922,123円、損益勘定留保資金315,690,170円及び当年度分利益剰余金の処分額26,251,761円で補てんしました。

3 令和3年度の予算の概要

(1) 予算の概要

令和3年度の予算は、「袖ヶ浦市下水道事業経営戦略」に掲げる下水道事業運営基盤の強化に向け、事業の経営成績と財政状態の現状把握を行ったうえで、より健全な事業運営を行っていくことを目的として計上しました。

(2) 収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円、税込)

款・項	令和3年度当初予算額 (A)	令和2年度当初予算額 (B)	比較増減 (A)－(B)
下水道事業収益	1,782,000	1,751,000	31,000
営業収益	746,169	715,067	31,102
営業外収益	1,035,831	1,035,933	△ 102

支 出

(単位：千円、税込)

款・項	令和3年度当初予算額 (A)	令和2年度当初予算額 (B)	比較増減 (A)－(B)
下水道事業費用	1,673,000	1,624,000	49,000
営業費用	1,531,397	1,429,161	102,236
営業外費用	134,353	155,489	△ 21,136
特別損失	250	32,350	△ 32,100
予備費	7,000	7,000	0

(3) 資本的収入及び支出

収 入

(単位：千円、税込)

款・項	令和3年度当初予算額 (A)	令和2年度当初予算額 (B)	比較増減 (A)－(B)
資本的収入	382,000	411,000	△ 29,000
企業債	262,600	229,400	33,200
他会計補助金	99,339	150,728	△ 51,389
国庫補助金	17,553	28,580	△ 11,027
負担金	1,512	1,539	△ 27
長期貸付金償還金	996	753	243

支 出

(単位：千円、税込)

款・項	令和3年度当初予算額 (A)	令和2年度当初予算額 (B)	比較増減 (A)－(B)
資本的支出	809,000	874,000	△ 65,000
建設改良費	109,569	171,408	△ 61,839
固定資産購入費	40	4,652	△ 4,612
企業債償還金	697,791	696,340	1,451
長期貸付金	1,600	1,600	0

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額427,000千円は、過年度分損益勘定留保資金6,275千円、当年度分損益勘定留保資金298,010千円、繰越利益剰余金処分額96,877千円、当年度利益剰余金処分額23,310千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,528千円で補てんします。

4 下水道使用料及び有収水量の推移について（下半期）

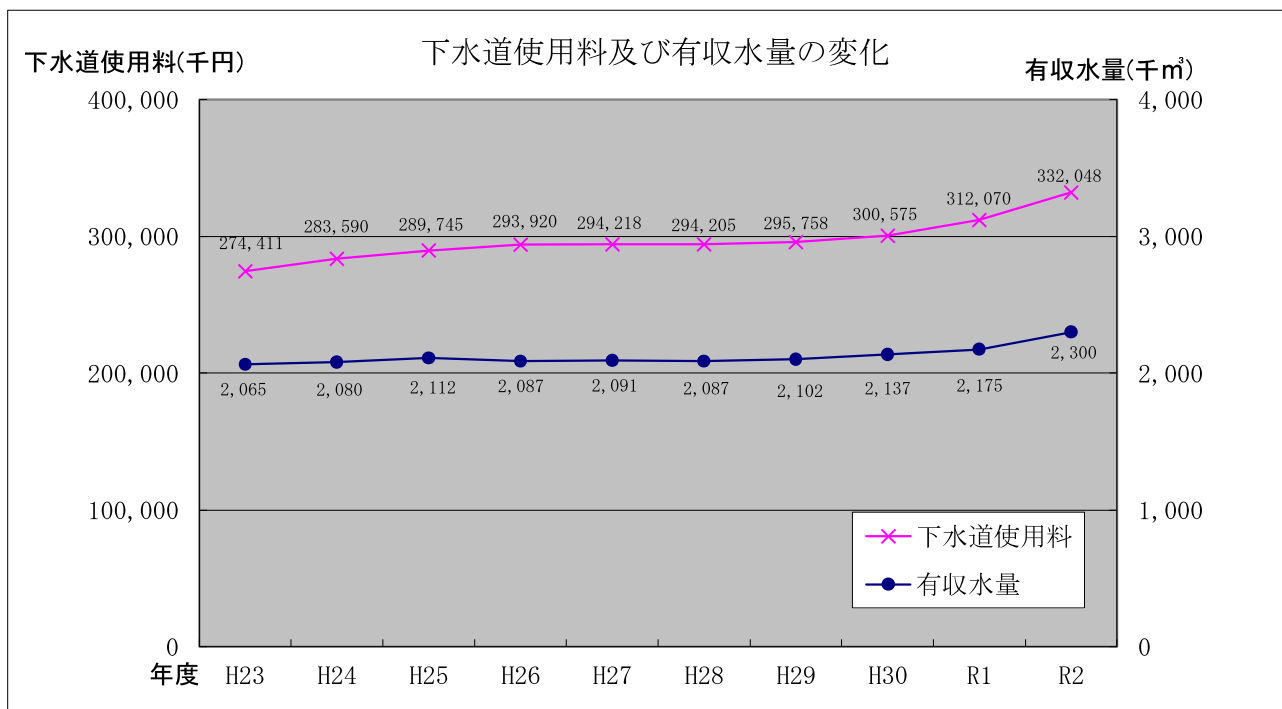
（1）公共下水道

年度	有収水量（m ³ ）	下水道使用料（円）（税込）
H23	2,065,163	274,411,178
H24	2,079,521	283,589,783
H25	2,111,597	289,744,715
H26	2,087,044	293,919,748
H27	2,091,267	294,217,724
H28	2,087,149	294,204,753
H29	2,102,015	295,758,332
H30	2,136,608	300,574,712
R1	2,175,199	312,070,103
R2	2,299,574	332,048,267

H23. 10料金改定 平均改定率9%

H26. 4料金改定（消費税5%⇒8%）

R1. 10料金改定（消費税8%⇒10%）



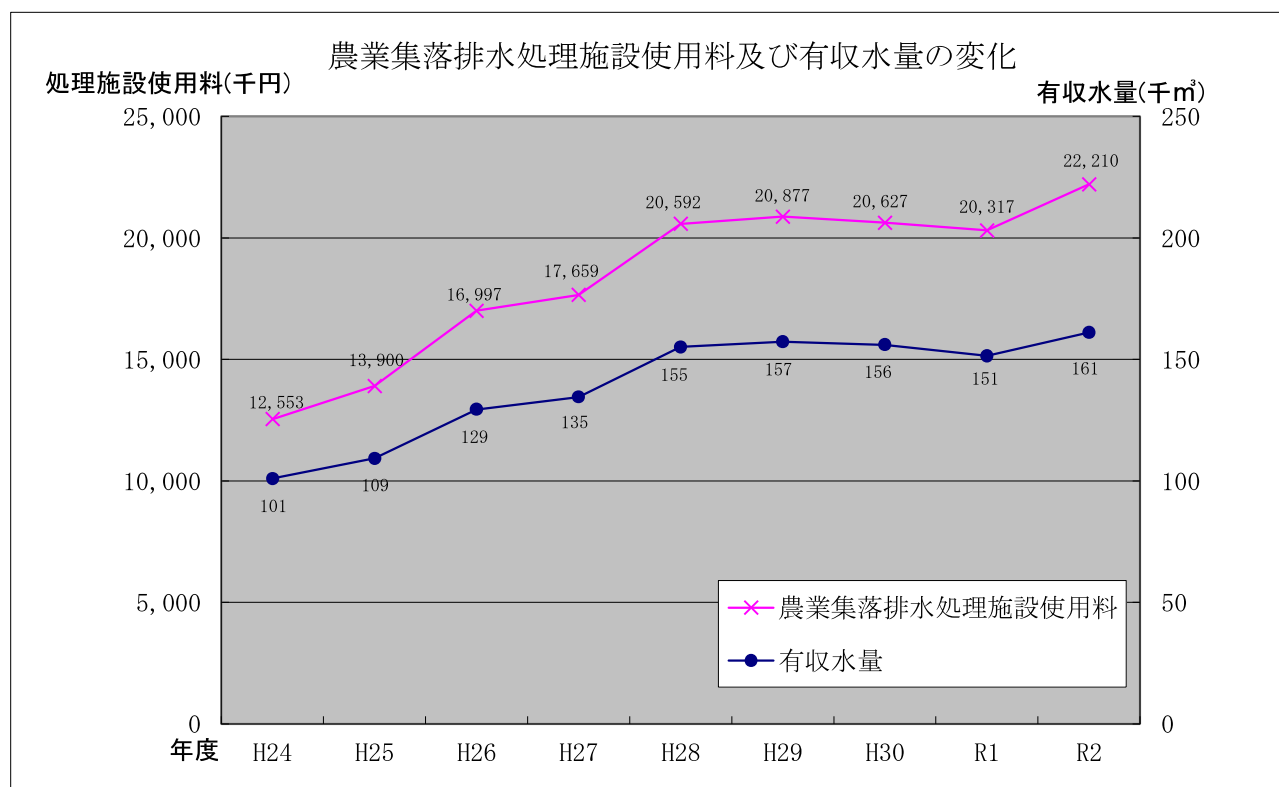
処理区域内人口及び水洗化人口ともに、令和元年度比で増加しています。有収水量も、124,375m³の増となっており、それに合わせて下水道使用料も19,978,164円の増となっています。

飲食店や会社事務等の業務営業用の使用水量が減少し、生活用及び工場用の下水使用水量が増加していることから、袖ヶ浦駅前地区の住宅の張り付き、新型コロナウイルス感染防止対策の影響で在宅時間が増えたこと、椎の森工業団地Ⅱ期地区企業の操業開始による使用水量の増加が、主要要因と考えられます。

※有収水量：下水処理場で処理した全汚水量のうち、下水道使用料徴収の対象となる水量

(2) 農業集落排水

年度	有収水量 (m ³)	農業集落排水処理施設使用料 (円) (税込)	
H24	100,964	12,553,458	H23. 10料金改定 平均改定率9%
H25	109,313	13,899,630	
H26	129,484	16,997,005	H26. 4料金改定 (消費税5%⇒8%)
H27	134,642	17,658,859	
H28	155,077	20,591,865	
H29	157,215	20,876,702	
H30	156,052	20,627,327	
R1	151,405	20,316,874	R1. 10料金改定 (消費税8%⇒10%)
R2	161,064	22,209,675	



処理区域内人口及び水洗化人口ともに、令和元年度比で減少しましたが、有収水量は、9,659m³の増となっており、それに合わせて農業集落排水処理施設使用料も1,892,801円の増となっています。

台風被害の影響や高齢化に伴い人口は減少しましたが、新型コロナウイルス感染防止対策の影響で在宅時間が増えたことによる使用水量の増加が要因と考えられます。

5 袖ヶ浦市下水道事業経営戦略との比較

(1) 公共下水道

区分	経営戦略 (A)	2年度実績 (B)	差引 (B) - (A)
処理区域内人口 (人)	43,250	44,043	793
水洗化人口 (人)	42,000	42,822	822
有収水量 (千 m^3)	4,368	4,562	194
下水道使用料 (千円)	626,539	655,372	28,833
1日平均有収水量 (m^3)	11,967	12,498	531

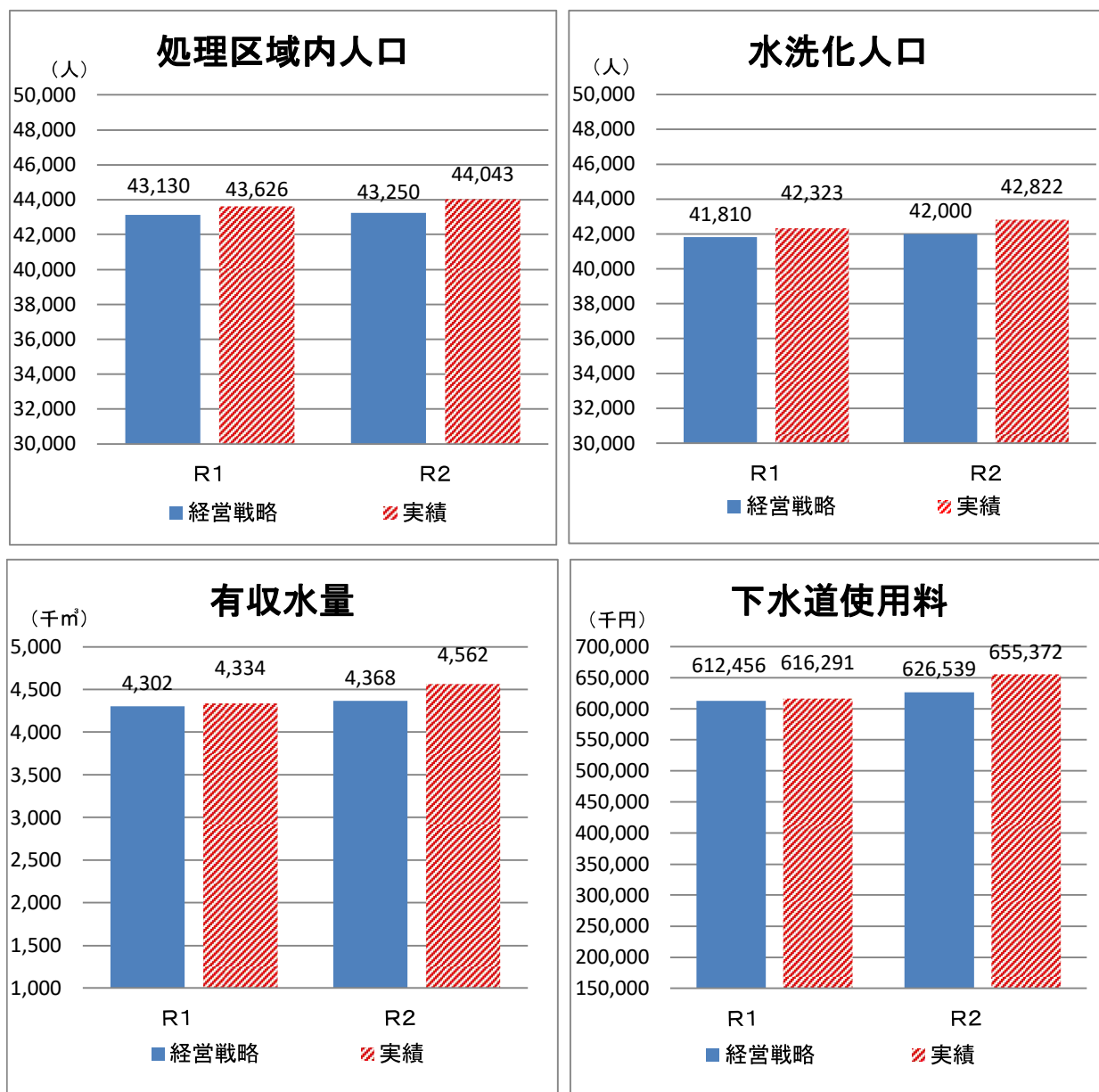
※処理区域内人口、水洗化人口は令和3年3月31日現在値

※下水道使用料は税込金額

令和2年2月に策定した袖ヶ浦市下水道事業経営戦略(令和2年度～令和11年度)と比較した場合、処理区域内人口及び水洗化人口は計画数値を上回っています。

有収水量及び下水道使用料も計画数値を上回っており、人口増加に加え、新型コロナウイルス感染防止対策の影響、椎の森工業団地Ⅱ期地区企業の操業開始による使用水量の増加等が要因と考えられます。

○経営戦略と実績との比較



(2) 農業集落排水

区分	経営戦略 (A)	2 年度実績 (B)	差引 (B) - (A)
処理区域内人口 (人)	4,420	4,256	△ 164
水洗化人口 (人)	3,540	3,323	△ 217
有収水量 (千 m^3)	315	320	5
農業集落排水処理施設使用料 (千円)	42,529	43,992	1,463
1日平均有収水量 (m^3)	864	876	12

※処理区域内人口、水洗化人口は令和3年3月31日現在値

※農業集落排水処理施設使用料は税込金額

令和2年2月に策定した袖ヶ浦市下水道事業経営戦略(令和2年度～令和11年度)と比較した場合、台風被害の影響や高齢化に伴い処理区域内人口及び水洗化人口は計画数値を下回っています。

有収水量及び農業集落排水処理施設使用料は計画数値を上回っており、新型コロナウイルス感染防止対策の影響で在宅時間が増えたことによる使用水量の増加が要因と考えられます。

○経営戦略と実績との比較

